

製品名: カルポニン (6N15) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe07871**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:500
分子量	33kDa

抗原情報

遺伝子名	CNN1
別名	Calponin-1; Basic calponin; Calponin H1, smooth muscle; CNN1
遺伝子 ID	1264.0
SwissProt ID	P51911
免疫原	ヒトカルポニン 1 の合成ペプチド

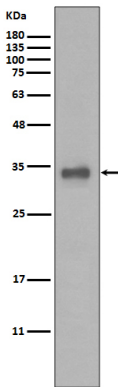
背景

カルポニン¹は平滑筋細胞の収縮を制御し、平滑筋細胞の分化マーカーです。アクチンおよびトロポミオシン結合タンパク質であるカルポニンは、平滑筋アクチンミオシン活性の阻害因子として特徴付けられます。カルポニンは、F-アクチンとの相互作用およびリン酸化ミオシンのアクチン活性化 MgATPase 活性の阻害を介して、平滑筋収縮の制御に関与しています。平滑筋収縮の制御と調整に関する細いフィラメント関連タンパク質です。アクチン、カルモジュリン、およびトロポミオシンに結合することができます。カルポニンとアクチンの相互作用は、アクチンミオシン Mg-ATPase 活性を阻害します（相同性による）。

研究分野

-

画像データ



マウス胃溶解液中のカルポニン発現のウエスタンブロット分析。